



平成 23 年 6 月 21 日
編集・発行：千代田区議会
〒102-8688 千代田区九段南 1-2-1
☎ 3264-2111 内線 3315
ファクシミリ 3288-5920

ホームページアドレス
<http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>
メールアドレス
kugikai@city.chiyoda.lg.jp

*この区議会だよりは、区議会ホームページでもご覧になれます。
区議会ホームページでは、「区議会日程」や「キッズページ」などを掲載しています。また、区議会の最新情報をお届けする「メールマガジン」も発行していますので、どうぞご利用ください。

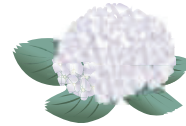


<QRコード>

第1回臨時区議会 第2回臨時区議会

主な内容

新しい常任委員会の構成……2面
委員会の概要……3面
委員会の構成……4面
議案の審議結果
区議会の会派構成
第1回臨時区議会の概要



区議会の新たな構成が決まる!!

区議会では、4月24日に行われた千代田区議会議員選挙後、初めての臨時区議会を5月24日に開催しました。

今回の臨時区議会は、議長・副議長の選任及び議員選出監査委員の選任の同意をはじめ、常任委員会・議会運営委員会・特別委員会の設置、委員の選任など、区議会の新しい構成を決めるために開かれたものです。

小林やすお議員（自民・4期）が議長に選任されました。副議長には、大串ひろやす議員（公明・4期）が選任されました。議員選出監査委員には、松本佳子議員（自民・4期）の選任に同意しました。

次に、常任委員会及び議会運営委員会の委員をそれぞれ選任しました。続いて、特別委員会を設置し、委員を選任した後、各委員会の正・副委員長が決まりました。



監査委員
松本 佳子



議会運営委員長
嶋崎 秀彦



副議長
大串ひろやす



議長
小林やすお

ごあいさつ

千代田区議会議長 小林やすお

区民の皆さん、こんにちは。

このたび議長に就任いたしました小林やすおです。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本年3月に発生いたしました東日本大震災は多くの犠牲者を生み、いまだに厳しい生活を強いられている避難者が多数おられます。更に、原子力発電所の被災により、首都圏の電力不足が発生し、区民生活へもさまざまな影響を与えております。加えて、発災時、本区では想定を超えた帰宅困難者が発生し、その対応にも追われました。このたびの大震災を踏まえ、災害から区民の生命と財産を守るための具体策の検討を急がなければなりません。

更に、地域コミュニティの活性化、福祉の充実、まちづくりの推進、環境問題への取り組み、教育の充実や次世代育成の推進など、重要な課題も山積いたしております。

区議会といたしましても、執行機関と緊密な連携を図り、さまざまな課題の解決に向けて積極的に取り組むとともに、開かれた区議会を目指し、区民の負託に応えていかなければならないと強く感じているところであります。

議長として、その責任の重大さに身の引き締まる思いをいたしておりますが、先輩並びに同僚議員のお力添えを賜り、区民福祉の向上と円滑な議会運営を目指して全力で取り組んでまいりたいと考えております。

何とぞ、皆さまの温かいご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。議長就任のあいさついたします。

議長略歴

小林やすお（自由民主党議員団）58歳
区議4期当選。この間、議会運営委員長、決算特別委員長、観光施策特別委員長、区民生活環境委員長、まちづくり特別委員長などを歴任。

副議長略歴

大串ひろやす（公明党議員団）56歳
区議4期当選。この間、危機管理対策特別委員長、予算特別副委員長、生活福祉副委員長、広報広聴特別委員長などを歴任。

新しい常任委員会の構成が決まりました

企画
総務
委員会

(定数9名)



委員
小林やすお



委員
安岡けんじ



委員
うさみ正記



副委員長
小枝すみ子



委員長
戸張孝次郎



委員
鳥海 隆弘



委員
木村 正明



委員
嶋崎 秀彦



委員
小林たかや

生活
福祉
委員会

(定数8名)



委員
永田 壮一



委員
河合 良郎



副委員長
高山はじめ



委員長
はやお恭一



委員
中村つねお



委員
松本 佳子



委員
山田ながひで



委員
寺沢 文子

環境
文教
委員会

(定数8名)



委員
内田 直之



委員
林 則行



副委員長
高澤 秀行



委員長
桜井ただし



委員
石渡 伸幸



委員
飯島 和子



委員
大串ひろやす



委員
岩佐りょう子

委員会の概要

区長から提案される議案や区民の皆さんから提出される請願・陳情など、区議会が審査・調査する案件は多岐にわたっています。このため、分野ごとに委員会を設置し、専門的、効率的に調査を行います。

常任委員会

本区議会では、次の3つの常任委員会を設置し、それぞれの委員会で担当事項を専門的に調査します。

なお、地方自治法により、議員は少なくとも1つ以上の常任委員になるものとされています。

企画総務委員会

政策経営部（区政の総合的な政策立案、区議会・区の行政一般、予算、広報広聴、情報システム、職員の人事・給与、財産・契約、区有施設の営繕、国際平和、男女平等・人権などを担当）、まちづくり推進部（都市計画、建築指導、住宅、景観、道路、公園、河川などを担当）、会計管理者（収入・支出の審査、現金・物品等の出納保管、決算などを担当）、選挙管理委員会及び監査委員に関すること並びに他の常任委員会の所管に属さないこと。

生活福祉委員会

区民生活部（コミュニティ振興、保養施設、統計調査、商工振興・消費生活、生涯学習、図書館、文化スポーツ振興、特別区税、区政案内、区民相談、戸籍・住民基本台帳、出張所などを担当）、保健福祉部（社会福祉、障害者・高齢者の保健・福祉、介護保険、国民健康保険、国民年金、高齢者医療、保健衛生、保健所などを担当）及び福祉事務所に関すること。

環境文教委員会

環境安全部（安全安心、危機管理、生活環境、清掃、リサイクル、環境保全、防災などを担当）、教育委員会（区立幼稚園、こども園、小・中学校、中等教育学校、保育園、児童館、子どもの手当、児童・家庭支援センター、教育研究所などを担当）に関すること。

議会運営委員会

議会の運営を始め、議会の会議規則や条例などの制定改廃のほか、議案や陳情の取り扱いなど議長の諮問について調査します。

特別委員会

特別委員会は、特定の問題について調査・研究する必要がある場合に、議会の議決によって設置する委員会です。

第2回臨時区議会では、次の3つの特別委員会が設置されました。

駅及び駅周辺環境整備特別委員会

本区には、JRの駅舎が9カ所もあり、更に約40ある地下鉄の駅とも路線の乗り入れが頻繁であり、駅の利用者の安全性などには区民の方々を始め、多くの人々の関心が高く、区議会としても重要課題として認識しています。

区では、平成10年3月に新たなまちづくりの指針となる「都市計画マスタープラン」を策定するとともに、平成15年5月には本区における現在のまちづくりの動きを、区民・関係機関・事業者などと共有できるツールとして、「まちづくりランドデザイン」を策定し、その中で各駅及び駅周辺の環境整備について取り組みの方向性を示しています。

現在、飯田橋駅、御茶ノ水駅及び神田駅の駅及び駅周辺においては整備計画が進められ、区議会でも改選前のまちづくり特別委員会において、これらの整備計画について鋭意調査・研究が行われてきました。

区議会としては、今後もこれらの整備計画について、地域の方々の意向を尊重しつつ、駅利用者に対する安全性はもちろん、とりわけ歴史、景観、文化、環境、商工振興などの配慮を重視すべき地域であることから、多様な観点でより一層の検討を行うため、特別委員会を設置しました。

旧庁舎跡地の活用に関する特別委員会

区議会では、昨年3月の改選前の議会において、いまだ定まらない旧庁舎跡地の活用の方角性について調査・検討を行うため、特別

委員会を設置しました。

同委員会では、本区において必要な行政需要を踏まえた施設や民間事業者から同敷地の利用の申し出があった案件内容などについて調査・検討を行うとともに、従前より執行機関において設置を検討し、議会でも議論してきた（仮称）高齢者総合サポートセンターの内容や施設規模との関係についても、生活福祉委員会での状況を含め調査・検討を行いました。

この過程で、（仮称）高齢者総合サポートセンターは、高齢者の相談拠点や在宅ケア医療拠点など、大きく5つの機能を備え、「高齢者の安心を支える」ために重要な役割を担う施設であること、当該センターが「高齢者の安心を支える拠点」としてその機能を最大限発揮するためには、介護が必要な高齢者が在宅で療養する際の医療支援が迅速かつ的確に提供される必要があることから、医療機関の協力が不可欠であることが明らかになりました。

これらの調査結果を踏まえ、活用の申し出のあった九段坂病院並びに当該病院の設置者である国家公務員共済組合連合会と執行機関の間で、旧庁舎跡地で建築する場合の条件や施設内容について、協議を進めることを同委員会として了承しました。

その後、協議状況の報告を受け、更に議論を行った結果、当該施設を建築するためには、解決すべき課題として少なくとも4点あることを委員会として確認しました。

4つの課題を詳細に検討するため、本区並びに国家公務員共済組合連合会の間で、平成23年1月31日付で仮基本合意書が締結されました。

この仮基本合意書に基づき、執行機関内及び執行機関と国家公務員共済組合連合会の間で、（仮称）高齢者総合サポートセンターと九段坂病院を合築する計画の具体的な内容、本計画を進める上で必要となる基本協定書の具体的な条件や規定事項について、更に協議が進められています。

区議会としては、第1回定例区議会後の協議経過及び内容、更には区民説明会や広報千代田での意見募集結果など、今後、区民の理

解を確認した上で、改選前の特別委員会において確認された諸課題が、どのように協議され、解決されたのか、などについて調査し、「基本協定書」にどのように反映されるのか、また、関係する団体との協力が得られているのか、を確認する必要があります。

以上のことから、区議会は旧庁舎跡地における（仮称）高齢者総合サポートセンター及び九段坂病院との複合施設の整備について、真に区民福祉の向上に資するものとなるよう、調査・研究していくため、特別委員会を設置しました。

災害対策特別委員会

平成23年3月11日に発生しました東日本大震災は未曾有の被害をもたらし、全国に大きな喪失感を広げ、原発事故やこれに伴う計画停電により、首都圏の生活にも大きな影響を及ぼしました。

本区でも震度5強の揺れが発生し、建物の外壁が落下するなどの被害が報告されており、その中でも、九段会館ではホール天井が崩落し、2名の方が亡くなる痛ましい事故が発生しました。

また、JRや地下鉄などの鉄道機関が全面ストップしたことにより、駅構内及び周辺地区に帰宅困難者があふれ、一時は混乱状態になりました。

区の計画では、帰宅困難者が発生した場合、皇居外苑を始めとした6カ所の指定した帰宅困難者支援場所において、周辺事業所が組織する地域協力会が中心となって、水や災害情報の提供を行うことになっておりましたが、十分に機能しませんでした。

また、地域防災計画では想定していない帰宅困難者を区施設に受け入れたことから、備蓄してあった水や食糧、毛布などが不足したため、物資の追加輸送と応援職員の派遣を行いました。しかし、激しい渋滞により相当の時間がかったことなど、多くの問題点が明らかになりました。

今回の震災を受け、これまでの区民を中心とした対策では不十分であり、地域防災計画の抜本的な見直しが必要であると考えます。

メールアドレス kugikai@city.chiyoda.lg.jp

ホームページアドレス <http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>



災害対策の基本は、被害を最小限に食い止めることです。そのため、平常時は災害への予防策を講じるとともに、災害発生時には迅速・的確な対応を図り、収束時には確実な復旧・復興策を実施することが求められます。

区議会としても、今回の経験を基に、いつ発生してもおかしくない首都直下型の大震災などに備え、被害想定の見直しや本区の防災計画の問題点を整理するとともに、「区民の生命と財産を守る」ため、その対策について、予防、初動、応急、復旧・復興を総合的・計画的かつ効果的に実施できるよう、調査・研究を行う必要があると考え、特別委員会を設置しました。

委員会の構成

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
氏名	うさみ 正記	林 則行	河合 良郎	はやお 恭一	高澤 秀行	安岡 けんじ	永田 壮一	内田 直之	小林 やすお	小林 たかや	寺沢 文子	小枝 すみ子	岩佐 りょう子	大串 ひろやす	山田 ながひで	嶋崎 秀彦	松本 佳子	桜井 ただし	飯島 和子	木村 正明	中村 つねお	高山 はじめ	戸張 孝次郎	鳥海 隆弘	石渡 伸幸
所属会派	みんな	千代田	千代田	千代田	千代田	千代田	自民	自民	自民	声	声	民主	民主	公明	公明	自民	自民	自民	共産	共産	ネット	自民	自民	自民	自民
委員会名 (定数)																									
企画総務委員会 (9名)	◆					◆			◆	◆		○				◆				◆			◎	◆	
生活福祉委員会 (8名)			◆	◎			◆				◆				◆		◆				◆	○			
環境文教委員会 (8名)		◆			○			◆					◆	◆				◎	◆						◆
議会運営委員会 (12名)	◆		○		◆						◆	◆			◆	◎		◆		◆	◆	◆	◆		
駅及び駅周辺環境整備特別委員会 (8名)	◆		◆			◆		◆		○					◆								◆	◎	
旧庁舎跡地の活用に関する特別委員会 (8名)		◆									○		◆			◆			◆		◆	◎			◆
災害対策特別委員会 (8名)				◆	◆		◆					◆		◆			◆	◎		○					

◎委員長 ○副委員長 ◆委員

自 民…自由民主党議員団

千代田…新しい千代田

共 産…日本共産党区議団

公 明…公明党議員団

声…ちよだの声

民 主…ちよだの声民主

ネット…ネットワーク

みんな…みんなの党

議案の審議結果など (平成23年第2回臨時区議会)

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席

議 案 名 等		議 員 名 等	出 席 者 数	投 票 数	賛 成	反 対	議 決 結 果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議 決 月 日
								う さ み 正 記 み ん な	林 則 行 千 代 田	河 合 良 郎 千 代 田	は や お 恭 一 千 代 田	高 澤 秀 行 千 代 田	安 岡 けん じ 千 代 田	永 田 壮 一 自 民	内 田 直 之 自 民	小 林 やす お 自 民	小 林 た か や 声	寺 沢 文 子 声	小 枝 すみ 子 民 主	岩 佐 り ょう 子 民 主	大 串 ひろ やす 公 明	山 田 なが ひ で 公 明	嶋 崎 秀 彦 自 民	松 本 佳 子 自 民	桜 井 た だ し 自 民	飯 島 和 子 共 産	木 村 正 明 共 産	中 村 つ ね お ネ ッ ト	高 山 は じ め 自 民	戸 張 孝 次 郎 自 民	鳥 海 隆 弘 自 民	石 渡 伸 幸 自 民	
議員提出議案	千代田区議会委員会条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5/24
	駅及び駅周辺環境整備特別委員会の設置について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5/24
	旧庁舎跡地の活用に関する特別委員会の設置について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5/24
	災害対策特別委員会の設置について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5/24
区長提案案件	千代田区監査委員の選任の同意について	24	23	17	6	可										無記名投票による採決							退									5/24	

◆ 千代田区議会議員 上限数26名 条例定数25名 現員数25名

区議会の会派構成

◎幹事長 ○副幹事長
△幹事 ◆経理責任者

自由民主党議員団
……… (10名)
嶋崎 秀彦
戸張 孝次郎
○ 高山 はじめ
△ 内田 直之
石渡 伸幸
……… (5名)
新しい千代田
河合 良郎
高澤 秀行
林 則行
日本共産党区議団
……… (2名)
公明党議員団
山田 ながひで
○ 大串 ひろやす
……… (2名)
ちよだの声
寺沢 文子
◇ 小林 たかや
……… (2名)
ちよだの声民主
小枝 すみ子
○ 岩佐 りょう子
……… (1名)
ネットワーク
○ 中村 つねお
……… (1名)
みんなの党
○ 正記
……… (1名)

第1回臨時区議会の概要

平成23年第1回臨時区議会を、区議会議員改選前の3月31日に開催しました。
第1回臨時区議会は、「平成23年度千代田区一般会計補正予算第1号」など、2議案を審査するために開かれたものです。
議案は、担当する委員会にそれぞれ審査を付託し、審査終了の後、原案どおり可決しました。
また、「公共施設適正配置構想時の小学校校舎解体工事等に関する調査特別委員会」の中間報告が行われ、第1回臨時区議会が閉会しました。